



依頼のあった住宅の窓ガラスを清掃するボランティア参加者
＝26日、新温泉町芦屋

窓拭きや草取りに汗

新温泉町社協「ちょボラ大作戦」30人参加

新温泉町社会福祉協議会は26日、日常のちょっとした困りごとを抱えている地域住民と、ボランティアをつなげる「ちょボラ大作戦」を繰り広げた。参加者たちは班に分かれ、依頼のあった住宅を訪れて窓拭きや草取りなどの作業に取り組んだ。

生活支援ボランティアを体験するほか、災害ボランティアセンターの模擬訓練の場にもなっている。今年度は高校生から70代の大人まで約30人が参加し、13班に分かれて浜坂地域と温泉地域で活動した。

同町芦屋の米村康子さん（92）宅には3人が訪れ、依頼のあった窓拭き作業を実施。水でぬらした新聞紙で窓ガラスをこすり、汚れを落としながらタオルで拭き上げてきれいにした。

今回が2度目の依頼という米村さんは「自分ではできないことばかりでありがたい。感謝感激です」と喜んでいて。汗を流した浜坂

高1年の中村洋翔さん（15）は「友達と一緒にできることをやろうと参加した」と話し、同3年の細川千智さん（17）は「喜んでもらえる活動ができれば」と手を動かしていた。

（岡村博）